



つき 月はいつどうやってできたの

さいしょ たいよう 最初に太陽ができた

いま 50億年ぐらい前、宇宙空間をガスでできた雲のような物が、ただよっていました。このガスでできた雲のような物が、おたがいに引きつけあって縮み始めました。すると、これが回転しはじめて、中心ができました。その中心の部分が、大昔の太陽だったのです。

ちきゅう いちぶ 地球の一部からできた

太陽のまわりには、大きな円ばんのような、ガスの固まりができました。このガスの固まりは温度が下がるにつれて、ガスの中から小さなちりのような物を、作り出していました。

そして、このちりのような物がたくさん集まって、びわく星とよばれる小さな星ができました。このびわく星どうしがぶつかりあったり、くっつきあったりしながら、地球や火星などの、太陽系のわく星ができました。

大昔の地球には、たくさんのびわく星が、次々とぶつかってきました。そして、あるとき、地球に、かなり大きなびわく星がぶつかり、地球の一部は、けずり取られました。けずり取られた部分が、地球から飛び出して、地球のまわりを回るようになりました。このときに、月ができたのです。月ができたのは、今から約46億年前になります。

(監修・国司 真)

